

アジアの国際関係 I

科目ナンバリング INR-205
選択 2単位

ミシュラン フランス

1. 授業の概要(ねらい)

この講義は「東アジアの国際関係―歴史と現在」というテーマについてです。この講義は歴史及び現在を扱います。春期は「古代から近代に至るまでの東アジアの国際関係」、秋期は「近現代における東アジアにおける国際関係」になります。国際関係というものは幅広いものでありますが、この講義には東アジア諸国の間の関係、そして東アジア諸国と東アジア以外の国々との関係を両方とも考察します。講義は一方的に行わず、できるだけ映像、写真等を用い、学生に積極的に参加してもらいたいと思います。

2. 授業の到達目標

- ① 世界の中の東アジアの歴史と現在の動向を理解する。
- ② 東アジアの中の日本の歴史と現状を分析する。
- ③ 東アジアの将来の可能性を考える。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(出席)40%、中間テスト 20%、期末試験 40%

4. 教科書・参考文献

参考文献

『古代日本と東部ユーラシアの国際関係』 廣瀬憲雄著 勉誠出版
『中世後期における東アジアの国際関係』 大隅和雄, 村井章介編 山川出版社

5. 準備学修の内容

毎週のテーマについて予めの準備学習を参考文献、東アジアに関するニュース等を読んで行う。毎回授業の 復習をする。

6. その他履修上の注意事項

毎週出席してください。また、秋期に「アジアの国際関係II」を履修していただきたいと思います。

7. 授業内容

- 【第1回】 ポリネシア人の大航海
- 【第2回】 古代における中国文化の普及
- 【第3回】 仏教の拡大と国際関係
- 【第4回】 古代日本における国際関係
- 【第5回】 パクス・モンゴリカ
- 【第6回】 大航海を諦めた明帝国
- 【第7回】 海へ広がった日本。海を拒絶した日本
- 【第8回】 ポーロ、リッチ、コロンブス
- 【第9回】 南蛮人と紅毛人
- 【第10回】 東南アジアの台頭
- 【第11回】 ムガル帝国とインドの植民地化
- 【第12回】 近世における国際関係
- 【第13回】 東アジアにおける欧米の覇権
- 【第14回】 日本の開国と近代
- 【第15回】 まとめ